2026年11月5日

各　　位

会　社　名　株式会社 京進
（コード番号 4735　東証スタンダード）
代表者名　代表取締役社長　立木　康之
問合せ先　取締役経営管理本部長兼財務部長　松原　博之
電　　話　(075)365－1500

上場維持基準への適合に関するお知らせ

当社は、2026年5月29日にスタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画について開示しています。この度、2026年10月26日時点において、すべての上場維持基準に適合しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況

当社のスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め下表のとおりとなっています。2026年2月28日時点では、流通株式時価総額が適合しておりませんでしたが、上場維持基準への適合に向けた計画に基づき取組みを進めた結果、2026年10月26日時点で適合いたしました。これにより、スタンダード市場の上場維持基準の全ての項目に適合することとなりました。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況及びその推移	2026年2月28日時点（移行基準日）	1,800人	29,117単位	8.8億円	34.6%
	2026年10月26日時点	1,668人	35,018単位	10.3億円	41.7%
スタンダード市場上場維持基準		400人	2,000単位	10億円以上	25%
2026年10月26日時点の適合状況		適合	適合	適合	適合

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出及び東京証券取引所より受領した「上場維持基準への適合状況について」から転記したものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況

当社は、2026年5月29日に提出した計画書に基づき、スタンダード市場の上場維持基準の充足に向けた取り組みを進めてまいりました。

(1)株価向上に資する取り組み

① 事業ポートフォリオの変革と戦略的成長による業績向上
② 持続的競争優位性(独自の人的資本基盤)の強化
③ 資本コストや株価を意識した経営と株主還元方針
④ IR 活動の推進・強化と情報発信の充実

これらの内容を、決算説明資料や中長期経営方針、「KYOSHIN VALUE REPORT2026」として取りまとめ、ウェブサイトや各種媒体、IR セミナーにて発信、Q&Aなども積極的に開示いたしました。また、これらの積極的な発信を通じて、株主・投資家の皆様との対話の機会を増やしてまいりました。

(2)流通株式数増加に資する取り組み

① 主要株主をはじめとする大株主の当社保有株式比率の引き下げ

法人大株主に対して、市場での当社株式売却を要請する等、流通株式数の増加に寄与するよう取り組んでまいりました。

② 自己株式の処分

上記取り組みに加えて、従業員に対するインセンティブ・プランの一環として、当社の中長期的な業績の向上及び企業価値の増大への従業員の貢献意欲を高めることを目的として、2026年10月9日に開示いたしました「従業員向け株式給付信託の導入及び 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ」の通り、2026 年10月26日に第三者割当による自己株式の処分(550,000株)を実施しました。

上記における自己株式の処分が完了した 2026 年 10 月 26 日時点における株券等の分布状況に基づき東京証券取引所の審査を受けた結果、この度、上場維持基準に適合していることが確認されました。

今後も安定的にスタンダード市場の上場維持基準に適合していけるよう、「学び」を核とした一生支援企業として、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指してまいります。また、IR活動の推進・強化、投資者向けの情報発信の充実等により、当社株式への投資の魅力を高め、投資家層の拡大に努めると共に、長期的なご支援をいただけるよう取り組んでまいります。

以 上